

# 村岡新駅周辺地区まちづくりニュース

## 村岡地区の移動に関するアンケート調査にご協力いただきありがとうございました

「村岡地区の移動に関するアンケート」は、地区のみなさまの移動の実態を把握し、移動に関する課題や潜在的なニーズを整理するために、昨年6月～7月にかけて実施し、合計で3,262世帯、4,804名の方から回答をいただきました。たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。

令和5年度からは、今回のアンケート結果等を用いながら、新駅開業後の新たな交通・移動環境づくりについて検討を進めていきます。

## アンケート調査から分かった 駅へのアクセス方法と自家用車の関係について

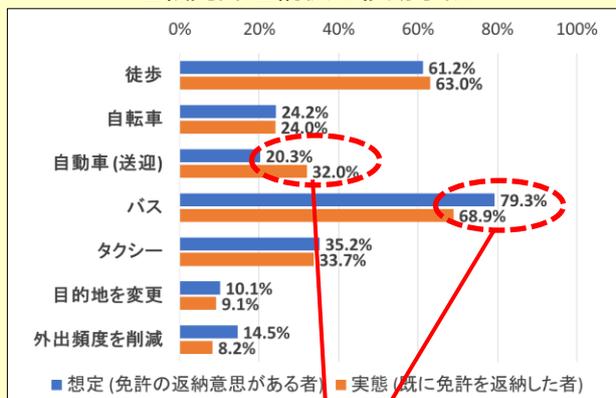
調査の結果から、75歳を境に運転免許返納者の割合は大きく増加していることがわかりました。運転免許を返納した方は、返納前に想定していたよりもバスの利用をされていないのではないかと推察されます。また、この年齢層では、自家用車を利用できる方に比べて利用できない方の外出日数が少なくなっています。

一方で、藤沢駅の近くに住む人は、年齢に関係なく全体として自家用車以外の方法で駅へアクセスしている傾向となっています。このことから、村岡新駅が開業すると、新駅周辺に住む方の駅へのアクセス方法が変化することが想定されます。

こうしたことから、自家用車を使わなくても、新駅を中心に移動しやすい環境づくりをすることで、だれでも気軽に外出できる、くらしやすいまちづくりを目指して取組を進めていきます。

### アンケート結果（一部抜粋）

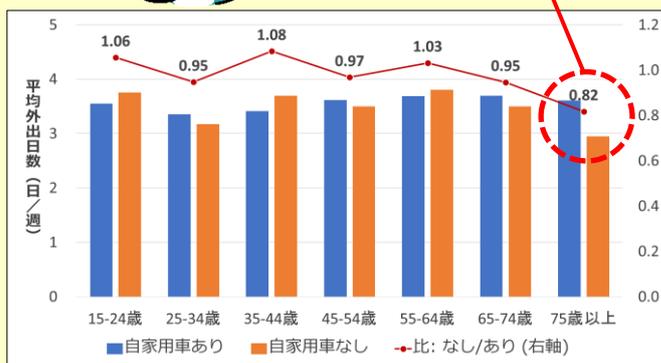
運転免許返納後の移動手段



免許返納前の方の想定よりも、実際は自動車（送迎）を移動手段としている割合が多いことがわかります。



75歳以上では、自家用車の有無によって、外出頻度に差がでることがわかります。



平均外出日数

このほかのアンケート結果については別紙をご覧ください。

## 新しいまちをこどもたちと考えました

昨年実施した小学生向けイベント「未来に向けた駅のあるまちづくりを考えよう！」では、村岡地区の小学校4～6年生10人が参加し、村岡新駅周辺の大きな地図を広げながら、新しいまちにはどんな建物や施設があるとよいか、グループごとにテーマ設定をして、作業をしながら考えました。

終了後のアンケートでは、まちづくりにおいて、「住み続けたいと思えるまちをつくる」「安心・安全なまちをつくる」ことが大切だという意見が多く上がりました。



▲テーマ「おじいちゃんおばあちゃんにとって住みやすく、健康に過ごせるまち」

◀テーマ「おとうさんおかあさんにとって住みやすいまち」

## 令和5年度の取り組みについて

### 村岡新駅周辺地区まちづくり協議会の取組

村岡新駅周辺地区におけるまちづくりを進めるにあたり、様々な立場の地域関係者が集まり、まちづくりに対する意見交換や検討を行う場として、「村岡新駅周辺地区まちづくり協議会」を令和4年度に設置しました。

昨年度の協議会の活動では、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」で示した将来地区像「尖る創造と広がる創造を生み出す街」の具体化を目指し、市が策定する「まちづくりコンセプトブック」について意見交換を行いました。今年度の協議会でも引き続き、「まちづくりコンセプトブック」への意見交換を行うなど、取組を進めてまいります。

### 新駅設置や土地区画整理事業の取組

村岡・深沢地区土地区画整理事業は令和5年3月にUR都市機構が国土交通省に対して事業認可の申請を行いました。また、令和4・5年度で、新駅設置等に関わる詳細設計を実施しています。

### \* 「まちづくりニュース」に関するお問い合わせはこちらまで

藤沢市 都市整備部 都市整備課 村岡地区整備担当

電話：0466-25-1111(代表) 4321(内線)

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/index.html>

